

2016 年 ISAF ユースセーリング世界選手権

日本代表選手 選考レース

レース公示

2/10 変更／期日、4.1、4.5、6.6、16.1、16.2、16.3

主 催：公益財団法人 日本セーリング連盟 オリンピック強化委員会

期 日：2016 年 3 月 27 日（日）～30 日（水）

開催地：和歌山ナショナルトレーニングセンター（和歌山セーリングセンター）

<http://www.wakayama-sailing.org/index.html>

1 規則

- 1.1 本レガッタは『セーリング競技規則』に定義された規則を適用する。
- 1.2 付則 P「規則 42 に対する特別な処置」が適用される
- 1.3 29er 級では、規則 44.1 と付則 P2.1 における 2 回転ペナルティーは、1 回転ペナルティーとして置き換える。
- 1.4 規則 87 に基づき、420 クラス規則 A.10.4 及び A.10.5 を主催者の準備するチャーターボート・チャーターセールに適用しない。

2 広告

艇は、主催団体により用意された広告を表示するよう要求されることがある。

3 安全

競技者は、海上では常時ライフジャケットを着用すること。主催者はそのライフジャケットが適切でないと判断した場合、その着用を拒否することができる。ライフジャケットは適切な規格に準じているものであること。

4 参加資格および申込み

4.1 本レガッタには以下の ISAF ユースセーリング世界選手権種目の艇が参加できる。

ダブルハンドクラス	420 男子・420 女子
シングルハンドクラス	レーザーラジアル男子・レーザーラジアル女子
ウィンドサーフィングクラス	RS:X 8.5 男子・RS:X8.5 女子
スキフクラス	29er 男子・29er 女子

※ 参加申込の艇が少ないクラスについては、選考レースを実施せず、クラス協会からの推薦により選考を実施する場合がある。

4.2 2016 年 12 月 31 日時点で 19 歳未満の者

4.3 次の競技団体の内、いずれかの推薦を受けた者。

各クラス協会・都道府県セーリング連盟・(公財) 日本セーリング連盟オリンピック強化委員会・所属クラブ。

4.4 本レガッタ参加の競技者はレース当日有効な、(公財)日本セーリング連盟及の会員でなければならない。

4.5 参加資格のある艇・選手は、添付の参加申込書に必要事項を記載し、2016 年 3 月 7 日(月)までに、下記の大会事務局に送付した後、2016 年 3 月 14 日(月)までに(公財)日本セーリング連盟(強化委員会)による、受領の通知を持って参加申込を受け付ける。参加申込書は、メールでデータを送付し、親権者の承諾書欄は、印鑑を押されたものを当日持参するか PDF にて送付のこと。

〒641-0014 和歌山市毛見 1514 番地 和歌山セーリングセンター
ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点 担当 中村厚子
電話 073-448-0251 FAX 073-494-3252

E-mail:info@wakayama-sailing.org

4.5 受領の通知が行われた艇・選手は 2016 年 3 月 19 日(土)までに下記の指定口座に参加料を振り込むことにより、参加申込を完了するものとする。

送金口座:三菱東京UFJ銀行 渋谷中央支店 (普)1192461

公益財団法人 日本セーリング連盟

* 参加者の氏名で振り込むこと

例 ○ スズキ クニオ × ○○(株)、○○大学

5 参加料

5.1 必要な参加料は次のとおりとする。

ダブルハンド・スキフクラス	10,000 円
シングルハンド・ウィンドサーフィングクラス	6,000 円

5.2 その他の料金

参加の選手は、400 円／日のハーバー使用料をレース受付時に支払わなければならない（JSAF オリンピック強化委員会次世代NT選手は免除される）

6 日程

6.1 大会の日程

27 日（日）	8:00～9:00	大会受付	
	10:00～18:00	体力測定	NT 規定による
	18:00～	開会式・艇長会議	
30 日（水）	17:00～	成績発表・閉会式	

6.2 レースの日程

28 日（月）	全クラス	レース	3 レース
29 日（火）	全クラス	レース	3 レース
30 日（水）	全クラス	レース	3 レース

6.3 各クラス最大 9 レースが予定され、1 日に 4 レースを超えてレースが行われることはない。

6.4 最初のクラスのレースの予告信号の予定時刻は 10:00 である。

6.5 レース当日は、毎日 8:30 からクラブハウス前にて、レース委員会・プロテスト委員会・選手・コーチによるブリーフィングを行う。

6.6 3 月 30 日（水）は、15:30 以降に予告信号が発せられることはない。

7 計測

各艇は、クラス規則で求められる有効な計測証明書を提示しなければならない（主催者により用意されるチャーター艇を除く）。さらに、大会期間中、いつでも計測が行われることがある。

8 帆走指示書

帆走指示書は 3 月 27 日（日）の大会受付で入手できる。

-
- 9 開催地
添付図 1 は、レガッタ・ハーバー及びレース・エリアの場所を示す。
- 10 コース
添付図 2 の見取り図は、レグ間のおよその角度、通過するマークの順序、それぞれのマークを通過する側を含むコースを示す。
- 11 得点
11.1 付則 A の低得点方式が適用される。規則 B8 は削除される。
11.2 シリーズの成立には 3 レースを完了することが必要である。
(a). 5 レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点はレース得点の合計とする。
(b). 5 レース以上が完了した場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 11.4 各種目の男子・女子は同時にスタートし、同じ種目として得点される。
- 12 支援艇
支援艇は主催者で用意される識別旗を表示しなければならない。
- 13 バース
艇は和歌山セーリングセンターにある間、指定された場所に保管されなければならない。
- 14 ドーピングコントロール
14.1 本選考会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。
14.2 本選考会参加者は、エントリーした時点で日本ドーピング防止規程にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
14.3 未成年者である本選考会参加者は、上記のドーピング検査の実施について親権者から同意を得たものとみなす。
- 15 無線通信
緊急の場合を除き、レース中の艇は、無線送信も、すべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用される。

-
- 16 賞及び大会への派遣
- 16.1 賞は次のように与える。
各クラス上位の1選手・チームを **2016** 年 ISAF ユースワールド日本代表選手・チームに推薦する。
- 16.2 オリンピック強化委員会により、当該クラスの代表選手が実力的に不十分であると判断した場合、世界選手権への派遣を見送る場合がある。
- 16.3** 世界選手権への派遣が決定した選手については、(公財)日本セーリング連盟オリンピック強化委員会ナショナルチーム規定により「次世代ナショナルチーム」として認定され、同規定に従わなければならない。
- 17 責任の否認
このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。規則4[レースすることの決定]参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。
- 18 艇の搬入
参加者は艇の搬入・搬出の日時について、和歌山セーリングセンターに事前に連絡すること。
- 20 問い合わせ先
〒641-0014 和歌山市毛見 1514 番地 和歌山セーリングセンター
ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点 担当 中村厚子
電話 073-448-0251 FAX 073-494-3252 info@wakayama-sailing.org

添付図 1 ハーバー及びレース・エリアの場所



添付図 2 レースコース

